



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第8号

2021年6月15日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

緒川小学校 杉本SP活動初日

6月7日、緒川小学校に新たな仲間、杉本SPが加わってくれました。杉本SPは大学院生で、住んでいる地域もSPさんの中では遠い方です。面談時に「東浦町まで遠くないですか？自宅に近い地域での学生ボランティアはありませんでしたか？」と尋ねると、「学生ボランティアを探す際に、いろいろな地域のHPを見ました。そして、東浦町のHPを拝見し、ぜひここで学生ボランティアをしたい！と思いました。」と……。驚きました。「より良い所で学びたい」という強い意志がビシビシと伝わってきました。その思いに応えられるよう、私も精一杯サポートしていきたいと思います。こんなに意識の高い学生さんが来てくれて、とても嬉しいです。これからよろしくお祈りします。

緒川小学校はオープンスクールです。オープンスクールとは、柔軟な教育活動が展開できるように廊下と教室との間仕切りを無くした、開放的な学校です。みなさんが一般的に想像する“学校”とは建物の造りが違います。（興味のある方はぜひ、緒川小学校へ足を運んでみてくださいね。）

活動初日ということで、教務主任の鈴木先生が学校の中を案内してくださいました。杉本SPは、「すごい」を連発していました。校舎を歩き進めていく内に、そして鈴木先生から説明を聞く毎に、杉本SPもどんどん良い表情になっていました。これからの活動が楽しみになったことと思います。ワクワクした表情がとても印象的でした。

初めての活動は1年生の教室でした。教室に入ったら突然「では自己紹介をお願いします」と言われ、子どもたちの前に立っていました。杉本SP、さっそく良いチャンスをもたらしていました。掴んでいました。突然の自己紹介、とても緊張したと思います。ですが、ゆっくり、丁寧に話していました。1年生に対して、どう話すのか。話し方にとっても気を付けていたと思います。全体に向けて話をする機会は、教育実習以外では現場に出るまで殆どありません。突然で驚いたかもしれませんが、とても貴重な機会だったと思います。杉本SP、良かったね！

自己紹介を終えた後は、教室内で支援をしました。音楽の授業です。みんなで歌いながら、身体を動かしていました。杉本SPも子どもたちの様子をよく見ながら、一緒に身体を動かしていました。マスク越しでも分かる笑顔を常に浮かべて、楽しそうに動いていました。先生が率先して動いてくれたり、楽しそうにやってくれたりすると、子どもたちも安心して動けるとと思います。授業が始まって10分後くらいには、子どもに手招きで呼ばれていました。杉本SPの雰囲気子どもたちはしっかり見ていたのでしょう。これからきっと、引っ張りだこになるだろうな……と思いました。杉本SPは補充学習やオープンタイムでも活動してくれるそうです。また杉本SPの活躍を見に行きます！楽しみです。

